



## 短時間で修復物、補綴物の除去が可能

修復物、補綴物の除去に際し、私はFG330を使用していました。

しかし、切削部分が折れやすく、形状が小さいため何度もバーを交換し、時間が掛かるのが悩みの種でした。

この事をカージャパンの方に相談すると、本来、FG330は除去に使用するものではなく、窩洞形成に使用するものであると指摘を受け、ブルーホワイトカーバイドバーのクリスクロスを紹介されました。

使用してみると、短時間での除去が可能となり、耐久性があるため、バーの消耗が減りました。

バーの使用に際し、タービンでは軸ブレが起きやすく、トルクが足りないため、5倍速に装着することが肝要です。

形態は、ストレートドームとテーパードームの二種類があります。私はクラウン除去にはストレートを、インレー除去にはテーパを使用しています。

クラウンリムーバーの使用時は、切削面にテーパ

ーが付与していない方が操作しやすく、インレー除去では、窩洞を広げたくないからです。

クラウンリムーバー使用の際、軸壁にグルーブを形成する方法と、ホールを形成する方法があります。患者さんに負担が少ないこと、除去したクラウンがテンポラリーとして再使用可能なこと、マージンの歯肉を傷つけない事を考え、ホールによる除去を第一選択肢にしています。

### 症例2. ホールによる除去



1. ホール形成



2. クラウンリムーバーの操作



3. 除去後

### 症例1. グループによる除去



1. クラウン軸壁にグループ形成



2. クラウンリムーバーの操作



3. 除去後